

(単元) 軍記物語『平家物語』「木曾の最期」

(本時のねらい)

軍記物語としての文体の特徴を把握し、口承文学として流布した『平家物語』の成立過程を理解する。

(ICT活用方法)

軍記物語の文体の特徴を知るため、琵琶法師の語る「平曲」の動画を視聴し、その特徴をグループで話しあい発表する。従来はテープを一斉に聴かせ、聴覚によって知覚するだけであったが、動画を視聴することで、字幕も合わせて見ることができるため、用語の把握が容易になり、内容だけでなく音韻やリズムの表現まで把握しやすくなる。

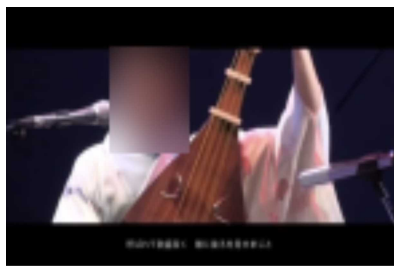
また文体の特徴を説明する際、本文の具体的な箇所を図示して説明できるので、表現上の効果を構造的・論理的に理解できる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 8分	○前時の復習をする。 『平家物語』成立の背景と伝承過程, 主題を確認する。 ○本時の目標を知る。	・『平家物語』が「平曲」によって流布した口承文学であること確認させる。 ・冒頭文中の対句や音便箇所を確認し, 主題を思い出させる。	・書画カメラで解説プリント (no.0) を提示する。	
展開 15分	○「平曲」の動画を見る。 ・一の谷の戦い「敦盛」部分のあらすじを知る。 ・冒頭 (地の文の語り) 部と「敦盛最期」(戦闘シーン) の「平曲」を視聴する。 ○視聴後の感想を述べる。	・地の文の語り部分と戦闘シーンの語りとを比較し, a) 場面内容によって語りの速度や楽器の演奏速度, 迫力等に違いがあること。 b) 演奏の高まりが戦闘の激しさや登場人物の感情の高まりを表すこと。 c) 『平家物語』の描く世界は, 人の生死に関わる重厚な世界であることに気づかせる。	・インターネットに接続し, 動画を視聴する。	2, 3人を指名
	○「木曾の最期」の本文内容を読み取る。		・書画カメラで,	

20分	①武者の装束，武具・馬具の名称や使い方を知る。 ②「木曾の最期」の本文の範読を聞く。 ③文体の躍動感は何に起因するか，グループで話し合う。 ④武者装束の叙述部が，詳細で色彩豊かな理由と効果について考える。	a) 木曾軍の戦闘シーンと兼平の説得部分とでは，文のテンポが異なることや， b) 擬音語や音便，対句部分が鮮明に聞き取れるよう留意しながら音読する。 ・本文で具体的に指摘させる。 ・『平家物語』の伝承経緯と主題をヒントに補足する。	①教科書のカラー写真， ②プリント no,1の本文部を提示する。	3グループほど指名
まとめ 12分	○文体の特徴をまとめる。 ・各自プリントに記入し，話し合った後，発表する。 ・教師のまとめを聞く。	・文体や叙述方法によって，作品の躍動感や高揚感，主題がより効果的に表現されることに気づかせる。	・書画カメラで，プリント no,5の解説部を提示し，記入する。	グループ活動も可とする。

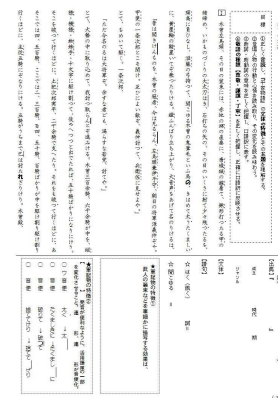
(授業の様子)



動画の視聴



話し合い



(生徒の反応)

動画の視聴は朗読より断然迫力があり，「敦盛」の段の悲劇性がよく伝わったため，教材への集中度が高まった。

プリント no,1

I C Tによりテキストそのものを表示できるため，各語の文法的理解度や文章全体の構造を説明するのに効果的だ。また，投影画面に本文を，右の黒板に語注を，左の黒板に全体の構成や主題を書き分けておけるので鳥瞰的に学習できる。より綿密な各時の指導計画に基づいて，ワークシートを作成する必要がある。